



発行所 福井県大野郡和泉村 下穴馬 912-02 中 912-03

(昭和46年5月1日現在)

村の人口	5人
出生	0人
死亡	39人
転入	41人
転出	2,415人
総人口	1,237人
男女	1,178人
世帯数	668世帯
村の面積	332.60平方km

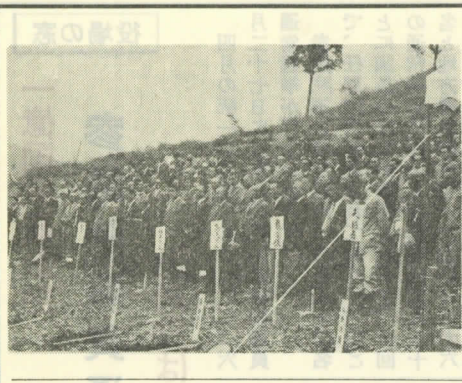
才十三回福井県

緑化大会開催さる

造林意欲を高揚

国土緑化の推進運動が展開されるようになってから、二十年余りなりまが、日本では始めての緑化運動としては大正元年に福島県が「植栽日」を設けたのが起源となつたようであります。その後、農林省が「愛林日」の名称で植樹行事を全国的緑化運動として実施されました。

戦後極度に荒廃した国土の復興のため、国土緑化運動は更に強力な国民的規模による運動となり、国土緑化推進



委員会が設立されるに至りました。それから二十年余を経て、緑化運動は全国に展開され、緑化思想はとみに高揚し、その成果をあげることができました。福井県においても、昭和三十七年坂井郡丸岡町女形谷に天皇、皇后両陛下をお迎えした、第十三回全国緑化大会が開催されたのであります。

本村においては、昨年十月十日穴馬総社境内において、奥越地方緑化大会が開催されましたが、第十三回福井県緑化大会の開催地として、本村が指定され、去る五月十一日福井県知事をはじめ林業関係者多数を迎えて、箱ヶ瀬地係において福井県、福井県緑化推進委員会および和泉村共催で盛大に開催されました。

緑化については、山地の造林はもとより、一人一人が植樹をしたり、鉢植えの木を求めると、近頃は特に日常生活に身近な存在となつてきました。こうした一連の動きがやがては、国土保全に大きな役割を果し、その実が結ぶことを念ずるものであります。

なお、当日林業功労者に対する表彰があり、その栄に浴された本村関係者は次のとおりです。

福井県知事表彰 平瀬利夫氏

福井県緑化推進委員会表彰
和泉村森林組合 谷口作業班
野口作業班



観光シーズンを迎えて

「山麓の雪解水みな湖に入る」(山口波津女)の如く、長い眠りからさめ山々の新緑と共に本格的な観光シーズンを迎へ、観光客は日増しに増加し活気をおびて来ました。特に五月の連休を利用して家族連れや、若者グループ等のマイカー族、団体客がドット押しかけ、連休中で一万七千人、五月五日現在までに役場産業観光課の調べでは、三万七千余の人が訪れています。

ここで観光客の層であります。一昨年あたりまでは、中京方面が圧倒的に多かつたが、昨年から北陸、

今月の目標

梅雨期の保健衛生にとめましよう

●食中毒の多い季節です。食べものはつとめて新鮮なものをえらびましょう。

●晴天の日は、つとめて寝具など日光消毒をしましょう。

生活目標

一、時間を守ること

二、集合の始まる時間と終る時間を守る

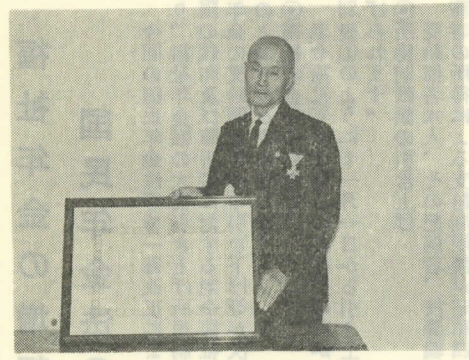
三、体力を知ること

四、自分の体力を知り体力に合う生活を

五、村をきれいにすること

六、村民こそつて、まわりを美しくする

近畿地方、遠くは千葉、埼玉、群馬、長野の関東甲信越地方からのマイカー族が多く見られるようになった。この現象は九頭竜ダムは勿論のこと、我が郷土である秘境奥越の地が全国的に知られつつあることにはかありませぬ。こうした観光客のため、本村観光長期計画あるいは隣接する一町四ヶ村で昨年春発足した奥濃飛越観光協議会における行政区画を超越しての観光開発計画等を今後、更に押し進め、観光客に「秘境奥越」を満喫できるように「観光いずみ」へと飛躍することを期待されています。尚、本年度観光客入込数は五〇万人前後が予想されるが、道路事情の整備と共に通過観光の傾向が見られるので、これを足止観光にもつてゆくことが今後の課題と思われる。



栄誉!! 谷口市松氏

勲五等瑞宝章授与さる

昭和四十六年度、春の生存者叙勲が去る四月二十九日に発表され、自治省関係で和泉村上大納谷口市松氏(七十五才)に勲五等瑞宝章が授与された。

その伝達式が去る五月八日福井県庁知事室において行なわれ、勲章、勲記が知事より手渡された。又、五月十三日には全国からの叙勲者が午前十一時皇居前広場に集合し、豊明殿に案内され、天皇陛下よりお言葉があり、記念品のご下賜が下つた。

まことにめでたいことであり、心から慶祝する次第である。

◎谷口市松氏の略歴及び功績

昭和五年四月から二十二年四月までの十七年間、旧下穴馬村議会議員、更に昭和二十二年四月から三十二年九月までの十年余、旧下穴馬村長を歴任し、長年にわたる地方自治の要職にあり、この間、山間へき地である本村を発展させるには、道路交通網の整備促進が先決として、村林道の開設はもとより、国道の改良整備及び越美北線開通促進(勝原朝日間)等に粉骨砕心の努力をされたのを始め、民生安定のため、産業の振興、地下資源等の開発を進め、昭和三十二年には国策に副つて旧上穴馬村との合併を実現し、今日の和泉村発展の基礎を築いた。

こうした長年にわたる地方自治の功績が認められ、今回の叙勲となつたものである。

役場の窓

一億国政総参加

参議院議員通常選挙

投票日は六月二十七日

四月の統一地方選挙につづいて、六月二十七日には第九回目の参議院議員通常選挙が行なわれます。

参議院議員の定数は、二百五十二名で、任期は六年とされており、三年ごとに議員の半数が改選されます。一回の通常選挙において全国選出議員五十名と地方選出議員七十六名の百二十六名が改選されます。又参議院には、衆議院のように任期中、途中に解散し、その地位を失なうようなことがありません。これは議員の身分を安定させ、国政の審議に充分考えて取組めるようにすることによつて、議員が目先のことにとらわれずに国家的利益を充分考慮することができるよう期待するとともに、議院の継続性を保たせることによつて国政の漸進的改革を期し、更には国会の機能の空白化を防ぐためであります。参議院は衆議院と同様、全国

昭和四十六年度

村道整備計画決まる

昨年より継続的に村道の整備を行なっていますが、本年度総額一千六百万円が予算化されましたので、重要な部落内の村道を幅員の改良あるいは舗装と順じ、近く工事に着手する計画であります。

尚、工事中は皆様方にご迷惑をおかけすることがありますが何卒ご協力をお願いいたします。

民を代表する議員であり、国民の利益を代表し、その活動に当たつては選挙人等の要求に拘束されることなく、国民の総意を反映すべき使命を負つています。特に今回の通常選挙は日本と世界に決定的な重要性をもつといわれる七十年代の大部分を国会議員として国政に参画する人達を選ぶ、わたしたち国民にとつて極めて大切な一票を行使しなければならぬ選挙です。参議院の国政上に占める重要性を知り一億国政総参加によつて、住みよい社会の具体化と、生きがいのある明るい生活に期待しましょう。

投票日には都合が悪い？

不在投票で行こう

不在者投票は、投票日に一定の事由によつて投票所に行つて投票することができない人の為に、選挙の期日の告示があつた日(六月四日)から投票日の前日(六月二十六日)までの間に投票をすることが出来る制度です。

一、投票日に村内の他の投票区内で仕事に従事しなければならない人
二、やむを得ない用務 例えは新婚旅行、慰安旅行など)又は事故(例えは旅先で病気になる)たり負傷した(場合など)のため投票日に他の市町村内に滞りしている場合

三、病氣、負傷、妊娠、老衰あるいは不具のため歩行が困難で投票日に投票所へ行けない場合などです
不在者投票の手続きは
従来、不在者投票をしようとする場合には、勤務先の長や、村長などの証明書が必要でしたが、四月の統一地方選挙からは「自分で投票所に行つて、投票当日投票することができない旨の申し立てをした宣誓書」により投票ができるようになりまし

た。
(宣誓書の用紙は選挙管理委員会に用意してあります)
●不在者投票の出来る期間は
一、六月四日から六月二十六日まで
二、毎日午前八時三十分から午後五時まで(日曜祭日をとわず受付)
選挙は、わたしたちの意見や要求を政治に反映させる最良の機会です。投票日に投票することの出来ない場合には、不在者投票を活用し大切な一票を投じ、国政に参加しましょう。

尚、不在者投票や、その他お知りになりたい場合は、委員会におたづね下さい。

愛の血液助け合運動

採血車「いぶき号」来る

八月十三日、十四日

この運動は、医療に要する血液の供給を献血により確保する体制を確立し血液事業の正常な発展を期するため、広く国民各層の間に献血思想を普及徹底させることを目的として、七月一日から七月三十一日までの一ヶ月間、全国的に展開されます。

福祉年金の増額など

国民年金法の一部改正

今回の国民年金法等の一部改正により、福祉年金額の大増額引き上げ所得制限の緩和及び障害者に対する老令福祉年金の支給開始年齢の引き下げ等が次のとおり改正されました。
●福祉年金額の引き上げ
老令福祉年金をはじめ各年金の額が別表①のように十一月一日から引き上げられます。
●所得制限額の引き上げ
受給権者本人、その配偶者、扶養義務者の所得による支給制限額が昭和四十五年年度分の所得から別表②のように引き上げられた。

●老令福祉年金の支給開始の引き下げ
現在老令福祉年金は七十才から支給されていますが年金法に定める障害等級二級(寝たきり老人)に該当する人であれば六十五才から支給されるように年令が引き下げられ十一月から支給が開始される。
●その他
各種控除額や公的年金との併給限度額が引き上げられた。

別表 1

年金の種類	46年10月分まで	46年11月分から
老令福祉年金	24,000円	27,600円
障害福祉年金	37,200	40,800
母子、準母子福祉年金	31,200	34,800

別表 2

	46年4月まで	46年5月から
本人の所得	320,000円	350,000円
扶養親族0人	540,450	801,500
1人	693,375	979,000
2人	781,725	1,094,000
3人	873,200	1,209,000
4人	966,300	1,324,000
5人	1,059,400	1,439,000
6人	1,152,500	1,554,000
7人	1,245,600	1,669,000

人のうごき

本村においても、来る八月十三日、十四日の二日間、日赤福井県支部の医療衛生事業の一環として、愛の採血車「いぶき号」が来る予定になつております。この献血のできる人は、年令満十六才以上(六十五才未満の健康な人であれば出来ます)ので、本運動の趣旨を充分ご理解いただき、自分のためにも多く献血されるようお願いいたします。



【出生】

朝日	飛山倫恵子	高増
上大納	荒木由香里	信彦
上大納	井上勝吾	正猛
上大納	永井 崇	長男
朝日	高橋 昭	長男
朝日	高橋 昭	克彦
朝日	高橋 昭	克彦
朝日	高橋 昭	克彦

【婚姻】

愛知県豊橋市	堀田文子
貝 血	谷田忠夫
朝日	富田啓子
朝日	井部八好
大野市	中島みづ
岐阜県武儀郡	角野清次

社会教育コーナー

親の目子の目 テレビの家庭教育

社会の変容、家庭生活の変化から生じた父親権威の低下、母親の過保護、マイホーム主義による家庭教育機能のまひ、社会性、公共性を育てることに欠けている等、しつつけの不徹底が「こどもの健全な人間形成を妨げる原因や青少年を反社会的な行動にかり立てる理由」のひとつともなっている。

文部省では、これらの諸事情から、三十九年以来、全国的に家庭教育学級を奨励し、両親に対し学習の機会を提供すると共に家庭教育についての国民的関心を高めるよう努めている。

働く母親が増加し、多くの家庭教育上の問題をかかえている現在、家庭教育学級で学習する両親や、その他子どもを育てつつある両親のために、テレビを通じて家庭に情報を提供し、子どもの家庭教育が効果的に行なわれるよう企画されている。

企画、文部省
制作、民間放送教育協会
放送NET、全国三十二局
福井放送では毎週土曜日
午前九時三十分より十時まで
昭和四十六年度各期のテーマ
第一期、四月～六月の主題
「こどものからだと心」
第二期七月～九月の主題
「子どもと家庭のふれあひ」
第三期十月～十二月の主題
「子どもの自立心と情報、他」
第四期一月～三月の主題
「働く母親像、生きぬく夫婦」

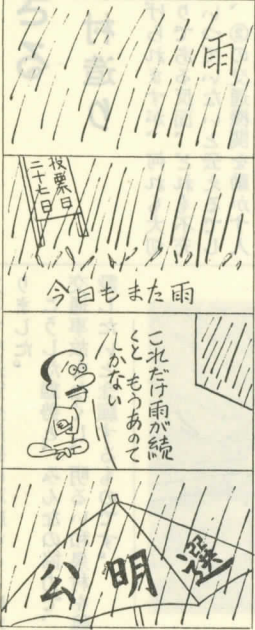
現在、第一期の「こどものからだ」が十三回におよんで放映中であり、六月の番組は

六月五日(土)
①うちの子、よその子
六月十二日(土)
②サツカーに汗する
六月十九日(土)
③わが子と離れて
六月二十六日(土)
④愛することは学ぶこと
七月三日(土)

⑤何かで自信を
以上は、民放の社会教育番組であるが、一方NHKにおいても「総合テレビ、教育テレビ、ラジオ第一、ラジオ第二」で数多くの社会教育番組が流されている。

「婦人向け番組」の中で「教育テレビ、ラジオ第二」▽家庭学級が「青少年向け番組の中で」▽若い広場「教育テレビ」▽中学生群像「総合」▽青少年を考える等、生涯教育の理念に立つ社会教育の場として情報網を活用したものである。

No.39
カンパジ
山みみのる



社会体育のおしらせ

村民体育大会は十月十七日に
雨天は二十四日

村民の皆さん全員が集まれる機会は村民体育大会しかありません。一年に一回の唯一の機会です。

すべての職場や、あらゆる団体において、全村民が参加いただけるように、歩調を合わせていただけたらご配慮がほしいものです。

今年度、今後の主な体育行事は、
六月 上旬に卓球教室、スポーツ少年団ソフトボール大会、中、下旬の日曜から七月にかけて、部落巡回体力テストや体力づくりの話し。
七月 少年水泳大会
八月 一日に村民ソフトボール大会
九月 体力テストや体力づくり



家庭の目目標

社会のきまりをまもり
明るい町や村をつくらう

十月 婦人バレーボール大会十七日に村民体育大会
十一月 少年卓球、バレー、サツカ大会
十二月 スキー教室、強化練習会
一月 二十四日に奥越スキー選手権大会
二月 卓球教室
三月 村民卓球大会、スキーバツジテスト会

新社会教育委員決まる

任期満了にもなる社会教育委員の選任は、四月二日の教育委員会において次の方々が委嘱されました。

社会教育法第十五条、同二十九条等法にもとづく委員で、一号委員(区域小学校長の代表) 二号委員(社教関係団体の代表) 三号委員(学識経験者) 村条例では、定数十名、任期は二年、公民館運営審議会委員を兼ねる。

三 加藤 良雄	朝 日
三 三島 利夫	後 野
三 新井 千代子	川 合
二 石田 幸保	朝 日
二 朝日 秋子	朝 日
二 井南 清治	板 倉
二 吉村 利章	下 山
一 松谷 秀雄	上 大納
一 長谷川 三代	上 大納
二 谷口 三	上 大納

みなづき(六月)

快適なスピード、乗り心地町を走り郊外観光地へも思いのまま、自動車とは何とすばらしいものだろうか。おそろしく人類が考え出したものの中で傑作の一つに数えられることだろう。しかし、この傑作が別の意味で考えると交通事故など、それに排気ガスによる空気の汚れなど人類に害をしている面もあり、ぶつそな乗りものでもある先日私も旅行の途中に事故車のあつた後の場面を見て通りましたが、あまりにも無残な自動車の惨害、いかに恐ろしい乗り物だと思いついてののがこわくなり歩きたいような気がいたしました。だが何れも自動車のみに限らない現代は農作物を荒らす害虫をみごとに殺虫し生産高をあげる農薬が今、人の健康をおびやかす食生活に大きな不安を与えています。その他夏を涼しく過ごすために冷房施設が冷房病を出したりいろいろと数えきれない位である。そうかといつて自動車は一切使わないとするとこれは不便利だし、農薬も一切使わないと農作物が取れない。その他のもでも現代の化学が進むにつれてどちらを取つてよいかわからないような時代になりそうだ。いつたいていすればよいのだろうか、一挙に解決できるようなそんな簡単な問題でないことは確かである。現在よくと考えていること、便利だとして使っているものすべてのもに思いつかぬ欠点や支障が起るかもしれない。だから初めから慎重に見直し点検してみたい。そこから気付なかつた問題点も見つかり事故やその他の事が起る前に手をうつ事も出来るではなからうか。限りない知恵、これがさらに新しい前進を生み出せるのが人間ではなからうか。

交通安全協会設立さる

事故をなくし明るい村造り

昨年、全国で交通事故のために死んだ人は一六、七六五人、負傷した人は九八、〇九六人を数えています。これは、わが国の人口の約一兆、即ち、百人に一人の割合で交通事故にあつてゐるわけです。このような状態でいくと昭和五十年には死者二万人、負傷者一七〇万人になるだろうと云われています。なんとも空恐しいと云うよりは、かたやありません。いくら文化が進んでも、暮しが楽になつても、私共の生活環境が毎日危険にさらされてゐるのではどうにもならないし、人間が便利のために造り出した自動車に自らが苦しめられるなど、全く不合理以外の何物でもありません。そこで、この恐るべき交通戦争に対処し、交通安全をはかすべき基本的問題として

- 一、交通機関の問題
- 二、交通機関を動かす人の問題
- 三、交通環境の問題



正しい横断の指導を受ける児童たち

などがあげられますが、何れも大切なことばかりである反面、どれも不十分でうまくいっていないと云えるでしょう。特に、②の交通機関を動かす人（運転者）の問題は一番大切なことであり、安全運転を行なうことによつて大半の事故が防げられると思います。また交通環境をよくするために、道路の整備及び標識等の基礎施設の整備を進めることも大事なことです。

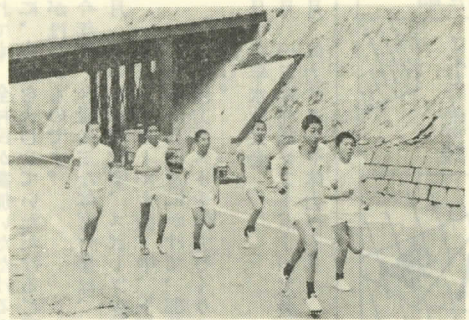
このように、交通安全に対する問題点が指摘されても、それが着実に実行されなければ効果を期待することはできません。

本村は、管内の交通安全対策をどのように推進していくかについて、研究し計画するために「交通安全対策会議条例」を制定いたしました。また、交通安全を實際的に指導するために「交通指導員制度」を条例化して指導員二名（中内智利、古川文男の両氏）を委嘱しました。このほか、交通安全の協力団体としてあつた「大野交通安全協会和泉支部」を解消し「和泉村交通安全協会」として新たに発足し、村と協

交通安全教室実施さる

和泉村教育委員会は、去る五月十二日朝日小中学校、下山小学校、十八日大朝日小中学校の児童生徒を対象に交通安全指導が行なわれた。大野警察署と村内の交通指導員の協力をえて午前と午後の二回に別け交差点の渡り方、自転車の安全な乗り方、其の他、道路交通に関して綿密な指導を受け最後に映画の観賞をして交通安全指導を終へた。

力して交通安全問題に取り組むことになりました。こうした態勢と、みんなの協力で、交通事故をなくし、明るい和泉村を建設したいと念願するものです。



開校記念校内マラソン大会開かる

マラソン大会開かる

五月一日、朝日小中学校では学校行事の一環として開校記念校内マラソン大会が全校生徒のほとんどが参加するなかで行われた。五月一日の中学校開校記念日には全国の中学校が一堂にマラソン大会を行うことが恒例の行事となつてゐる。本校では参加者数五十六名（見学者六名）男子六キロ女子四キロの距離を全員無事完走した。このマラソン大会は開校記念行事として、強い精神力の鍛錬を目標として行われたものである。前日の雨天から心配されたマラソン大会ではあつたが当日は早朝から晴れあがり、青空の見える空模様となりマラソンを行うには絶好のコンディションであつた。

税の知識

八時三十分から開校記念の式典があり、九時からグラウンドで大会長（古川校長）の話があり、準備運動をすませた後、大会長の撃ちならす号砲で、女子生徒が一堂にスタートした。四十分後男子生徒がスタートし、参加者全員がベストを尽くして十時三十分マラソン大会を終了した。成績は次のとおり
六キロ（男子）最高タイム二十四分四キロ（女子）二十分十八秒

税金の二十三兆は、サラリーマンなどが納める源泉所得税です。しかし、毎月の給与から源泉徴収されている所得税の仕組みについては案外知られていないようです。そこで、所得税についてサラリーマンに関係ある点を説明します。

一、所得税は申告納税制度をたてまえてはいますが、サラリーマンについては、勤務先から毎月給与が支払われるつど、所得税が源泉徴収されそれを年末調整によつて、一年間の所得税を精算する源泉徴収制度をと

所得税45年比較表

家族の構成	区分	収入金額		
		100万円	150万円	200万円
夫婦	45年分	32,600	89,100	163,500
	46年分	28,200	79,600	147,300
夫婦と子供1人	45年分	20,600	71,800	143,400
	46年分	15,400	62,400	126,900
夫婦と子供2人	45年分	9,100	56,700	123,600
	46年分	2,700	47,100	106,700
	軽減額	4,400	9,500	16,200
	軽減額	5,200	9,400	16,500
	軽減額	6,400	9,600	16,900

(注) 社会保険料の負担の割合によって、税額が若干異なります。

青年団活動状況について

和泉村青年団では、毎月第一及び第三水曜日を定例の集会日にしており、各行事を計画実践しています。既に四月、五月の行事は消化し、六月の行事予定である六月五日（土）の午後より村内一円の清掃奉仕、十三日（日）午前より大野市小山地区青年団との親睦を計るため、ダム周辺において交歓会等の準備に取り組んでいます。尚、四月一日より役員が次のように変わりました。

- 団長 三橋 武雄 (朝日前坂)
- 副団長 山本 一郎 (朝日)
- 副団長 道岸 孝治 (川合)
- 書記 山出 悦子 (角野)
- 会計 明石やゑ子 (朝日)

あ と が き

六月はいやな梅雨がやつて来ます。毎日ジメジメした日が続く、心までしめつた感じになつてしまふ。子供も外へ出る時間が少なく運動不足になりがちです。こんなとき、つとめて新鮮な野菜や魚、肉、油類を食べ、天気の良い日には寝具類を日光消毒し健康に留意しましょう。